

大城弘明写真展

地図にない村

「三和（みわ）村」という地名を覚えていますか。

1946年4月、沖縄戦で壊滅的な被害を受けた真壁・喜屋武・摩文仁の三村が合併し、永遠の平和を願い「三和村」と命名された村が誕生しました。誕生から15年後の1961年10月、糸満・兼城・高嶺・三和の一町三村が合併して新しい糸満町が発足。これにより、「三和村」の名称は地図から消えました。

写真家大城弘明さんはその「三和村」で生まれ育ちました。ガマ、遺骨、不発弾、慰霊塔、そして一家全滅の家……。大城さんの少年の頃の記憶には、そのような故郷の風景があるのだと言います。

企画展では、「三和村」と呼ばれていた地域で長年に亘り撮影してこられた大城さんの多くの作品を紹介します。写真を通して、「三和村」の風土を感じ、歴史について考えてみませんか。

大城弘明（おおしろ ひろあき）さんの略歴

1950年 三和村（現糸満市）福地生まれ／1973年 沖縄タイムス社編集局写真部入社。（現在写真部長）
 1996年 九州写真記者協会賞ニュース部門賞
 2001年 共著『沖縄島唄紀行』（小学館）刊行。／2002年 写真展「琉球烈像—写真で見るオキナワ」（那覇市民ギャラリー）出品／1999年～『糸満市史資料編 13 村落資料』専門委員



戦争の傷跡を残すヒンプン 1972年・糸満市宇喜屋武にて

期日：平成21年7月6日（月）～7月17日（金） 土日は休み

時間：午前8時半～午後5時半 但し、最終日は午後1時まで

場所：糸満市役所 庁舎2階 市民ギャラリー

主催：糸満市教育委員会

問い合わせ先：糸満市教育委員会文化課（市史編集担当） TEL840-8162

入場
無料